

第1回「新時代における徳島県公立高等学校の 在り方検討会議」の概要について

徳島県教育委員会教育創生課

第1回「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」概要

1 日 時 令和3年2月2日（火） 午後1時30分から午後3時30分まで

2 場 所 徳島グランヴィリオホテル 1階 グランヴィリオホール

3 出席者

(1) 委 員 15名中14名出席

(2) 県教委 教育次長，教育創生課長，事務局員4名

4 議事概要

(1) 県教育委員会あいさつ

(2) 委員紹介

(3) 会長・副会長の選出

互選により，山下一夫委員を会長に，坂田千代子委員を副会長に，それぞれ選出。

(4) 事務局説明

○本県公立高等学校の現状について

○高等学校改革に係る国の動向について

(5) 意見交換

5 意見交換において検討会議委員から出された主な意見

(特色化・魅力化を図るための方策について)

(1) スクール・ミッション，スクール・ポリシーの策定

○各高校の存在意義等を示すスクール・ミッションや，教育活動の指針となるスクール・ポリシーの策定は，中学生の目的意識を持った進路選択に有効である。

○本県教育の基本方針等を定めた「徳島教育大綱」を踏まえるとともに，当該校におけるこれまでの取組を更に発展させる形で策定することが望ましい。

○ビジョンが明確で組織内に浸透している企業が活躍するように，スクール・ミッションを教職員間で共有している学校が，魅力化に成功するのではないか。

(2) 普通科の特色化・魅力化

○再編統合により魅力を高めた専門高校があるように，特徴がわかりにくい普通科には，再編統合の可能性も踏まえながら，より一層の創意工夫を期待したい。

○学習活動とともに，スポーツや文化，科学等に関する部活動の両面から魅力化を推進し，例えば，他に類を見ない学科や部活動の創設も検討してはどうか。

○社会的・職業的自立に向けた教育や法教育，また，地域を誇りに思う教育など多様な教育活動を取り入れ，生徒の夢や志の実現を支援していただきたい。

(3) 在り方検討の方策

○教育活動の展開には地域社会との連携・協働が求められており，特色化・魅力化の推進にも，コミュニティ・スクールの果たす役割が重要ではないか。

○現行の入学者選抜（特色選抜）は，出願要件の対象が特定のスポーツ経験者に偏っていることから，多様な生徒に対応できるよう，見直してはどうか。

○人口減少が進む県内の自治体が地元高校を積極的に支援し，高校は地域の活性化に貢献するといった協力関係にある取組を，更に拡大してはどうか。

第1回新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議

次 第

日時 令和3年2月2日（火）
午後1時30分から
場所 徳島グランヴィリオホテル
1階 グランヴィリオホール

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員及び事務局職員紹介
- 4 設置目的・検討事項の説明
- 5 会長・副会長の選出
- 6 議事
 - (1) 本県公立高等学校の現状について
 - (2) 国の動きについて
 - (3) 意見交換
 - (4) その他
- 7 閉会

配付物一覧

- (1) 検討会議次第（本紙）
- (2) 会場配席図

[資料]

- | | |
|------|---|
| 資料1 | 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議設置要綱 |
| 資料2 | 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議委員一覧 |
| 資料3 | 徳島教育大綱（概要版） |
| 資料4 | 本県公立高等学校の現状 |
| 資料5 | 国の動き |
| 資料6 | 今後の開催スケジュール（予定） |
| 参考資料 | ・本県公立高等学校の特色ある取組（4校）
・公立普通科設置高等学校の特色 |

新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議設置要綱

(設 置)

第1条 徳島県公立高等学校の目指すべき将来像を描くに当たり、最適な高校の在り方を検討するため、「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」（以下「検討会議」という。）を設置する。

(検討事項)

第2条 検討会議は、次に掲げる事項について検討を行う。なお、検討結果については、徳島県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に報告するものとする。

- (1) 公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策
- (2) 公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策
- (3) 公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策

(委 員)

第3条 検討会議は、委員15名以内で組織する。

- 2 委員は、学識経験者、行政関係者及び学校関係者のうちから、教育長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、第2条に掲げる報告が終了するまでとする。
- 4 欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 長)

第4条 検討会議に、会長1人及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、検討会議を代表し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 検討会議は、会長が招集する。

- 2 検討会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
- 3 会長は、必要があると認められるときは、委員以外の者に出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

(庶 務)

第6条 検討会議の庶務は、徳島県教育委員会教育創生課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和3年1月8日から施行する。

新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議委員一覧

令和3年2月2日現在

氏 名	役 職 等
荒 木 光二郎	公益財団法人徳島経済研究所 専務理事
市 岡 沙 織	市岡製菓株式会社 代表取締役社長
井 上 浩 子	徳島県立富岡東中学校・高等学校 学校評議員
儀 宝 修	徳島県立徳島科学技術高等学校 校長
近 藤 明 子	四国大学経営情報学部 准教授
坂 田 千代子	一般社団法人徳島経済同友会 代表幹事 株式会社あわわ 会長
瀬 尾 陽 子	徳島県立吉野川高等学校 PTA会長
孝 志 茜	さくら税理士法人 公認会計士・税理士
辻 貴 博	貞光食糧工業株式会社 代表取締役社長
西 村 智 子	川城・西村法律事務所 弁護士
福 谷 あずさ	ケーブルテレビ徳島株式会社 コンテンツ事業部編成グループ 主任
分 木 秀 樹	公益財団法人徳島県スポーツ協会 専務理事
松 本 賢 治	徳島県市町村教育委員会連合会 会長 徳島市教育委員会 教育長
山 下 一 夫	鳴門教育大学 学長
結 城 栄 子	吉野川市立鴨島第一中学校 校長

※ 50音順 敬称略



新しい本県教育の方針

概要版

「徳島教育大綱」策定

策定の趣旨

この大綱は、本県における教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

現在、我が国は「人口減少」と「災害列島」という国難とも呼べる課題に直面するとともに、「Society5.0」の到来や持続可能な開発目標「SDGs」の達成が期待されるなど、これまでの常識が通用しない「未知の世界」が眼前に広がる時代を迎えています。今後、徳島が「未知の世界」に挑戦し、日本全体を「持続可能な社会」へと導くため、この大綱に沿って、徳島の教育力を結集させ、本県の宝である「人づくり」に全力で取り組みます。

基本方針

未知の世界に果敢に挑戦する、
夢と志あふれる「人財」の育成

「人財」の具体像

- ① 「未来を切り拓いていく人財」
- ② 「新たな価値を創造していく人財」
- ③ 「地域を輝かせる人財」

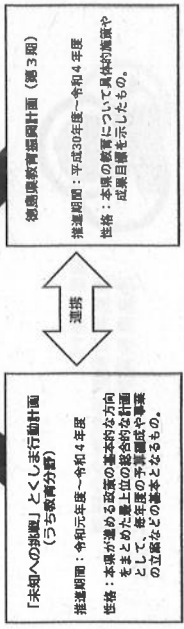
推進期間

令和元年度（2019年度）から令和4年度（2022年度）までの4年間とします。

位置付け

徳島教育大綱

徳島県教育振興計画は、大綱の行動計画
位置付け：大綱は教育分野についての県総合計画の上位の概念



重点項目

「徳島ならでは」の教育

先人たちが脈々と受け継がれる進取の気質や精神に根ざした教育施策を推進するとともに、それらをしつかりと育み、次代に継承することで、徳島教育大綱の基本方針の実現をめざします。

「徳島ならでは」
の教育で育む
3つの心

可能性に挑戦する「こころいき」
困難に打ち克つ「たくましさ」
人や自然、地域を大切に「おもいやり」

重点項目Ⅰ 未知への挑戦！未来を創る教育の推進

「SDGs」、「Society5.0」、グローバル化への
対応など新たな時代に求められる教育の推進！

① 持続可能な社会を具現化する「徳島ならでは」の教育の推進

- 徳島発！新次元の消費者教育の推進
- 未来を拓く、魅力あふれる学校づくり
- 未来を拓く環境教育の充実

② 「Society5.0」をリードする資質や能力の育成

- 先端技術の効果的活用による教育活動の充実
- 未来を現実にする、プログラミング教育の推進

③ 世界に羽ばたく「グローバル人材」の育成

- 世界への扉を開こう！徳島育ちのグローバル人材の育成
- 新しい価値の創出に挑戦、クリエイティブ人材の育成

Keyword

ぶか消費、デジタル化、水教育、STEAM教育、英語4技能の育成 など



県内外の高校生が交流する
エンカルフエス



プログラミング教育の
授業風景

Keyword

探究活動、6次産業化教育、道徳教育、読書活動、運動習慣の確立 など



仮新事で地域の魅力を体験



アクティブ・ラーニング
による授業



高校生と幼稚園児の
食育を通じた交流

重点項目Ⅱ 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進

質の高い「知・徳・体」の学び！
新学習指導要領の着実な実施！

① 真の知性を育む「深い学び」の実現

- 確かな学力を育む、質の高い、深い学びの実現
- 地方創生に貢献する、多様な学びの実現
- 価値の創造を加速する、高等学校機関との連携強化

② 将来を描き、可能性を最大化する教育の推進

- 未来を切り拓く「キャリア教育」の推進
- 社会を「自分事」として捉える主権者教育の充実
- 豊かな育ちを支える、幼児教育の推進

③ 成長を支える「豊かな心、健やかな体」の育成

- かけがえのない「生命」を尊重し、感謝する心を育む教育の推進
- 夢を抱き、心豊かに生きる力を育む教育の推進
- 自ら学び、実践する健康教育の推進
- 健全な心身を培う、魅力ある食育の推進



重点項目Ⅲ 一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進

個性を発揮し、みんなが活躍！共に生きるダイバーシティを！

①個性が輝き、一人ひとりが活躍できる「特別支援教育」の推進

- 個々の特性に応じた適切な支援体制の充実
- みんなが主役！一人ひとりの才能や個性を生かす教育の推進
- 共生社会の実現に向けた教員の専門性の強化

②互いに尊重し、支え合う教育の推進

- 多様性を認め合い、つながりを実感する人権教育の推進・充実
- 子どもたちの未来を守る環境づくり

③共に生きる、「多様な力」を育む教育の推進

- 共生につながる、帰国・外国人児童生徒に対する教育支援
- 世界につながる教育の場の創造



「支援学校まかろえ」



全国いじめ問題子供サミット



台湾新化高級中学との交流

Keyword
ダイバーシティな行動支援
多文化共生・異文化理解

重点項目Ⅳ 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進

生涯を通じた、安全・安心な学びの環境づくり！

①生涯を通じた「豊かな学び」の創出

- つながる！支える！できる！生涯教育支援の充実
- 生涯にわたって学び続ける環境づくり

②とくしまの未来を守る「防災教育」の推進

- 「絆」を育む防災教育の推進
- 学校から地域へ広がる防災力の向上

③すべての子どもが学び、成長する教育環境の充実

- 子どもと共に教職員が輝く、質の高い学びの実現
- 学校・家庭・地域が一体で取り組む教育の推進
- すべての子どもに均等な教育機会の提供



Keyword
リカレント教育
全国初！県立坂間中学の設置
持続可能な学校づくり
コミュニティ・スクールの導入

「とくしま親なびワークショップ」



高度教育力向上のための研修
中・高校生生の防災研修会



放課後子供教室での学び

重点項目Ⅴ 世界へ飛躍！「徳島ならではの文化・スポーツ」を創出する教育の推進

スポーツ・文化芸術で優れた才能や個性を見いだし、伸ばす教育の推進！

①レガシーを創出「運動スポーツとくしま」づくり

- 未来のトップアスリートの発掘、育成・強化
- 生涯にわたるスポーツに親しむ環境づくり

②世界に輝く「あわ文化」の創出

- 4大モチーフに代表される「あわ文化」の創出・発信
- 優れた芸術・文化に触れる機会の創出

③「ふるさと徳島」への誇りと郷土愛を育む教育の推進

- 未来へ発信！世界遺産登録への挑戦
- 郷土の自然と文化を愛し、「ふるさと徳島」への誇りを培う教育の推進
- ふるさとの魅力実感！「とくしま回帰」の促進



ドイツ女子ハンドボール
プロチームとの交流



うだつの町並みでの
ガイド研修

Keyword
競技力の向上
生涯スポーツの普及促進
あわ文化の担い手育成



参考

持続可能な開発目標 (SDGs)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



「徳島教育大綱(今後4年間で取り組む重点施策)」とSDGsの対応関係

5つの重点項目	推進項目	SDGsの17の目標																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
I 未来への飛躍！ 未来を守る環境の 推進	① 持続可能な社会を具現化する「徳島校からでは」の取組の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	② 「Society5.0」をキーワードとする取組や部会の育成	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
II 学びを深め、 豊かな学びを育む 教育の推進	① 世界に輝かせる「アローカムカム」の育成	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	② 県の知性を育む「あわ学び」の実現	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
III 一人ひとりが輝く！ 多様性を育む教育の 推進	① 個性が輝き、一人ひとりが活躍できる「特別支援教育」の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	② 互いに尊重し、支え合う教育の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV 誰もがいきいき！ 生涯を通じ、安心して 学ぶ教育の推進	① 生涯を通じた「豊かな学び」の創出	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	② とくしまの未来を守る「防災教育」の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
V 世界へ飛躍！ 「徳島校からでは」の 文化・スポーツレガシー を創出する教育の推進	① レガシーを創出「運動スポーツとくしま」づくり	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	② 世界に輝く「あわ文化」の創出	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

徳島教育大綱の全文はこちらでご覧いただけます。
<http://tokushimakyouiku/taikou/tokushima-ed.jp>

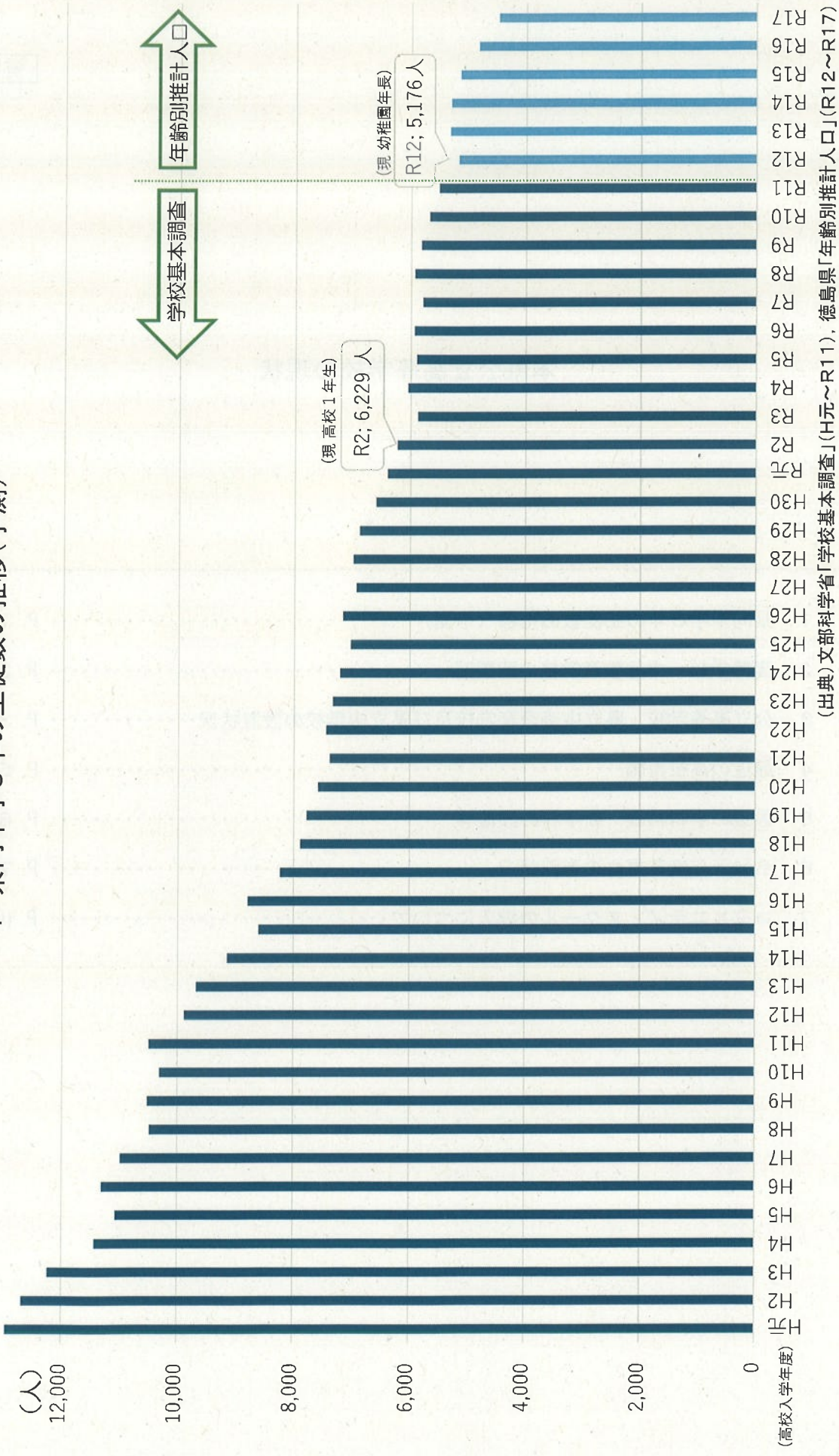


編集・発行
徳島県政策創造部総合政策課
徳島県教育委員会教育政策課

本県公立高等学校の現状

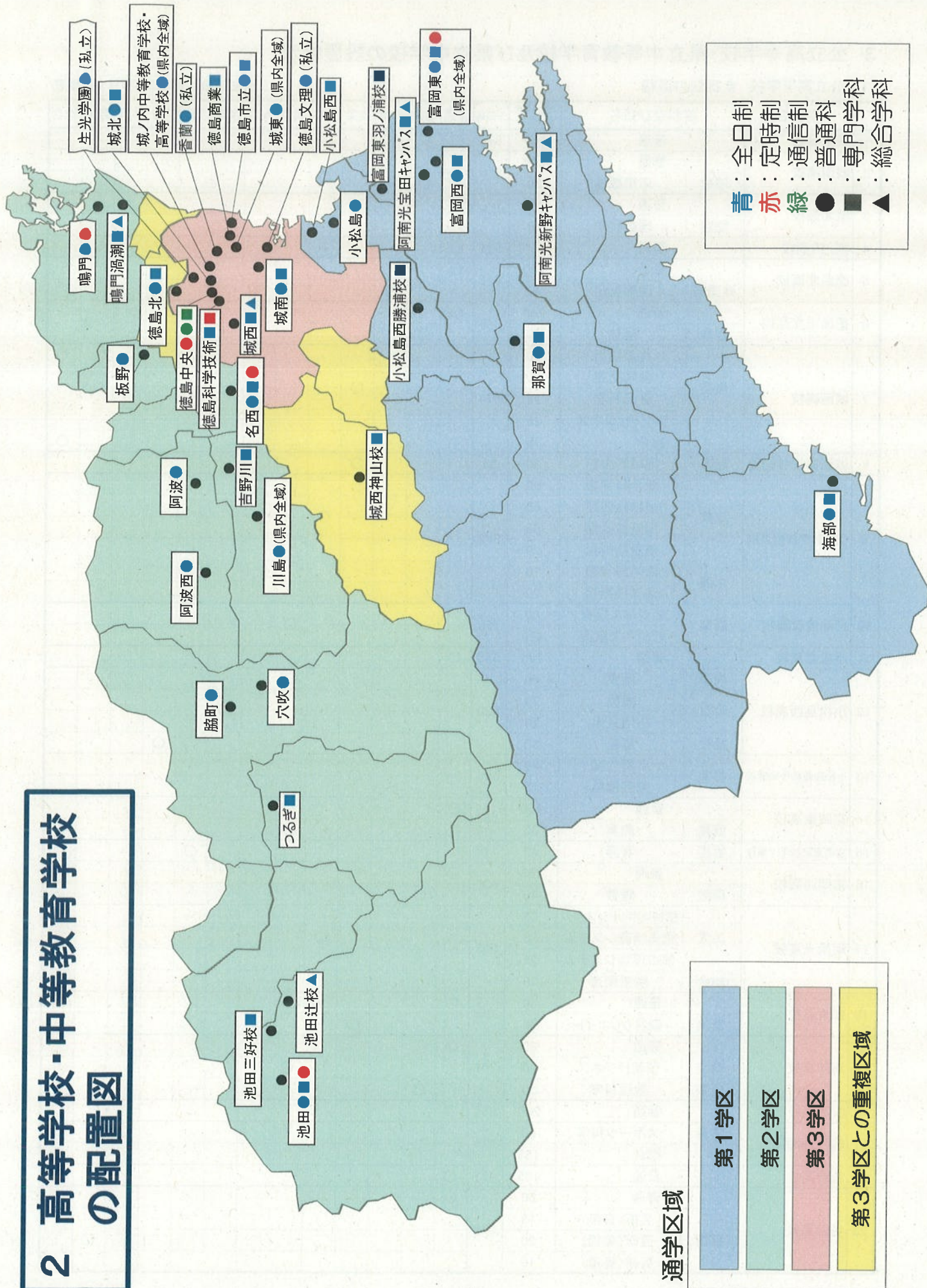
- 1 県内中学3年の生徒数の推移（予測）…………… P. 1
- 2 高等学校・中等教育学校の配置図…………… P. 2
- 3 公立高等学校・県立中等教育学校及び県立中学校の設置状況…………… P. 3
- 4 最近の高校再編…………… P. 5
- 5 最近の学科再編，新学科の設置等…………… P. 6
- 6 令和元年度卒業生の進路状況…………… P. 7
- 7 コミュニティ・スクールの導入について…………… P. 10

1 県内中学3年の生徒数の推移(予測)



(出典)文部科学省「学校基本調査」(H元~R11), 徳島県「年齢別推計人口」(R12~R17)

2 高等学校・中等教育学校の配置図



3 公立高等学校・県立中等教育学校及び県立中学校の設置状況

(1) 公立高等学校 全日制の課程

※生徒数は令和2年5月1日現在

学校番号	学校名	学科及び類名		令和3年度 募集定員	生徒数	普通	理数	外国語	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	総合		
						○	○													
1	城東高校	普通		280	877	○														
2	城南高校	普通		240	830	○														
		理数	応用数理	30			○													
3	城北高校	普通		240	832	○														
		理数	理数科学	30			○													
4	城ノ内高校	普通		240	591	○														
5	徳島北高校	普通		240	911	○														
		外国語	国際英語	40				○												
6	徳島市立高校	普通		260	949	○														
		理数	理数	40			○													
7	城西高校	農業	生産技術	20	514															
			植物活用	20																
			食品科学	25																
			アグリビジネス	25																
		総合	75																	○
8	城西高校神山校	農業	地域創生類	30	85															
9	徳島科学技術高校	工業	総合科学類	60	882															
			機械技術類	65																
			電気技術類	55																
		建設技術類	70																	
		水産	海洋科学類	10																
		海洋技術類	20																	
10	徳島商業高校	商業	ビジネス探究	60	795															
			ビジネス創造	190																
11	小松島高校	普通		180	555	○														
12	小松島西高校	商業	商業	60	528															
			食物	70																
		家庭	生活文化	20																
			福祉	福祉		30														
13	小松島西高校勝浦校	農業	応用生産	20	105															
			園芸福祉	15																
14	富岡東高校	普通		150	581	○														
		商業	商業	35																
15	富岡東高校羽ノ浦校	看護	看護	40	119															
16	富岡西高校	普通		155	636	○														
		理数	理数	40			○													
17	阿南光高校	工業	機械ロボットシステム	35	508															
			電気情報システム	30																
			都市環境システム	25																
		総合	産業創造	75																
18	那賀高校	普通		50	195	○														
		農業	森林クリエイト	20																
19	海部高校	普通		60	301	○														
		商業	情報ビジネス	20																
		理数	数理科学	30			○													
20	鳴門高校	普通		280	865	○														
21	鳴門渦潮高校	体育	スポーツ科学	60	615															
		総合	総合	135																
22	板野高校	普通		135	471	○														
23	名西高校	普通		50	348	○														
		芸術	芸術(音楽)	15																
			芸術(美術)	20																
			芸術(書道)	10																

学校名	学科及び類名		令和3年度 募集定員	生徒数	普通	理数	外国語	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	総合	
24 吉野川高校	農業	農業科学	20	348				○										
		生物活用	15															
	商業	会計ビジネス	20															
		情報ビジネス	25															
		食ビジネス	30															
25 川島高校	普通		125	395	○													
26 阿波高校	普通		155	542	○													
27 阿波西高校	普通		55	180	○													
28 穴吹高校	普通		55	174	○													
29 脇町高校	普通		165	554	○													
30 つるぎ高校	工業	電気	45	500					○									
		機械	45															
		建設	20															
	商業	商業	25															
		地域ビジネス	20															
31 池田高校	普通		130	488	○													
	理数	探究	35															
32 池田高校辻校	総合		50	168														○
33 池田高校三好校	農業	食農科学	20	99				○										
		環境資源	15															
全 日 制 計			5060	16541	20	6	1	6	3	6	1	1	1	1	1	1	4	

	普通科(含 理数科・外国語科)				専門学科(除 理数科・外国語科)											総合 学科
	普通	理数	外国語	小計	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	小計		
令和3年度全日制募集定員 構成比(%)	59.4	4.0	0.8	64.2	4.8	8.9	9.6	0.6	1.8	0.8	0.6	1.2	0.9	29.2	6.6	
令和3年度全日制進学希望(令和2年9月調査) 構成比(%)	64.4	4.0	0.9	69.3	2.4	11.1	7.6	0.8	1.6	0.9	0.4	0.7	0.6	26.1	4.6	

(2) 公立高等学校 定時制の課程

学校名	学科及び類名		令和3年度 募集定員	生徒数	普通	理数	外国語	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	総合
1 徳島科学技術高校	工業	機械類	40	67					○								
		工業技術類	40														
2 徳島中央高校	普通	普通(昼間午前)	60	254	○												
		普通(昼間午後)	30														
		普通(夜間)	40														
3 富岡東高校	普通		40	581	○												
4 鳴門高校	普通		40	865	○												
5 名西高校	普通		40	348	○												
6 池田高校	普通		40	488	○												
定 時 制 計			370	2603	5				1								

(3) 公立高等学校 通信制の課程

学校名	学科及び類名		令和3年度 募集定員	生徒数	普通	理数	外国語	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	総合
1 徳島中央高校	普通		※	270	○												
	看護	衛生看護															

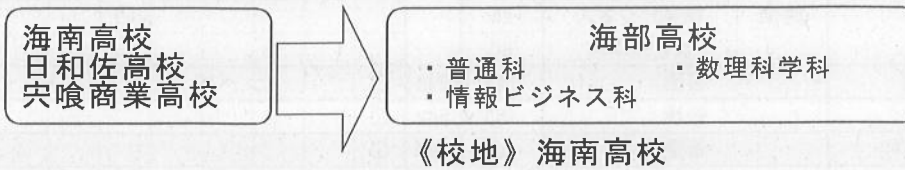
※募集定員については、制限を設けていない。

(4) 県立中等教育学校及び県立中学校

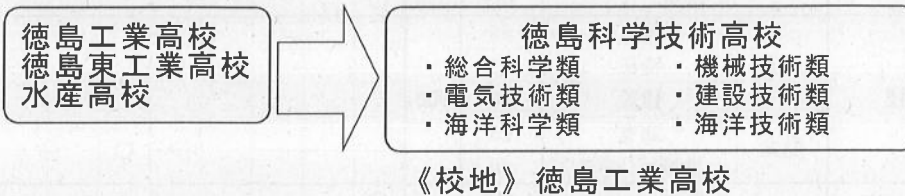
学校名	令和3年度 募集定員	生徒数
1 城ノ内中等教育学校	140	417
2 富岡東中学校(併設型中高一貫教育校)	80	239
3 県立川島中学校(併設型中高一貫教育校)	60	146
県立中等教育学校及び県立中学校 計	280	802

4 最近の高校再編

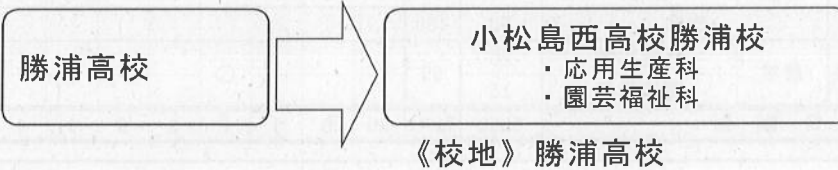
○海部高校（平成16年4月～）



○徳島科学技術高校（平成21年4月～）



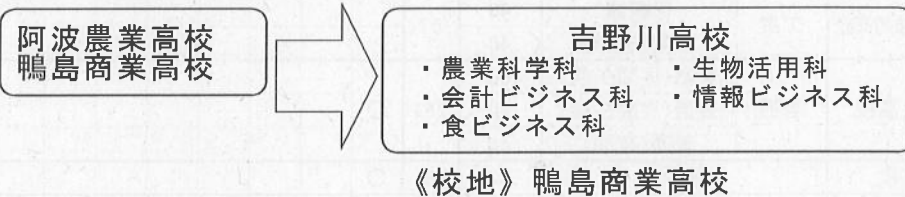
○小松島西高校勝浦校（平成24年4月～）



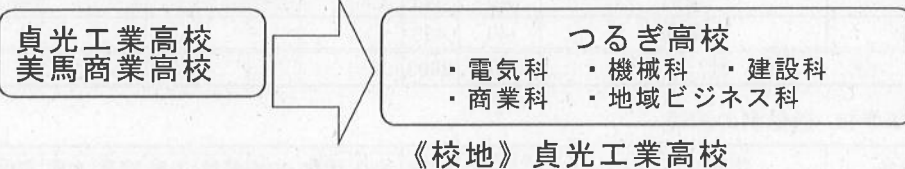
○鳴門渦潮高校（平成24年4月～）



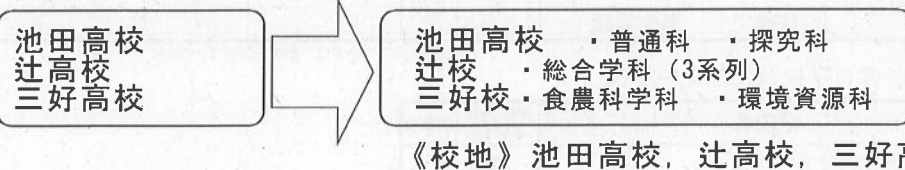
○吉野川高校（平成24年4月～）



○つるぎ高校（平成26年4月～）



○池田高校・辻校・三好校（平成29年4月～）



○阿南光高校（平成30年4月～）



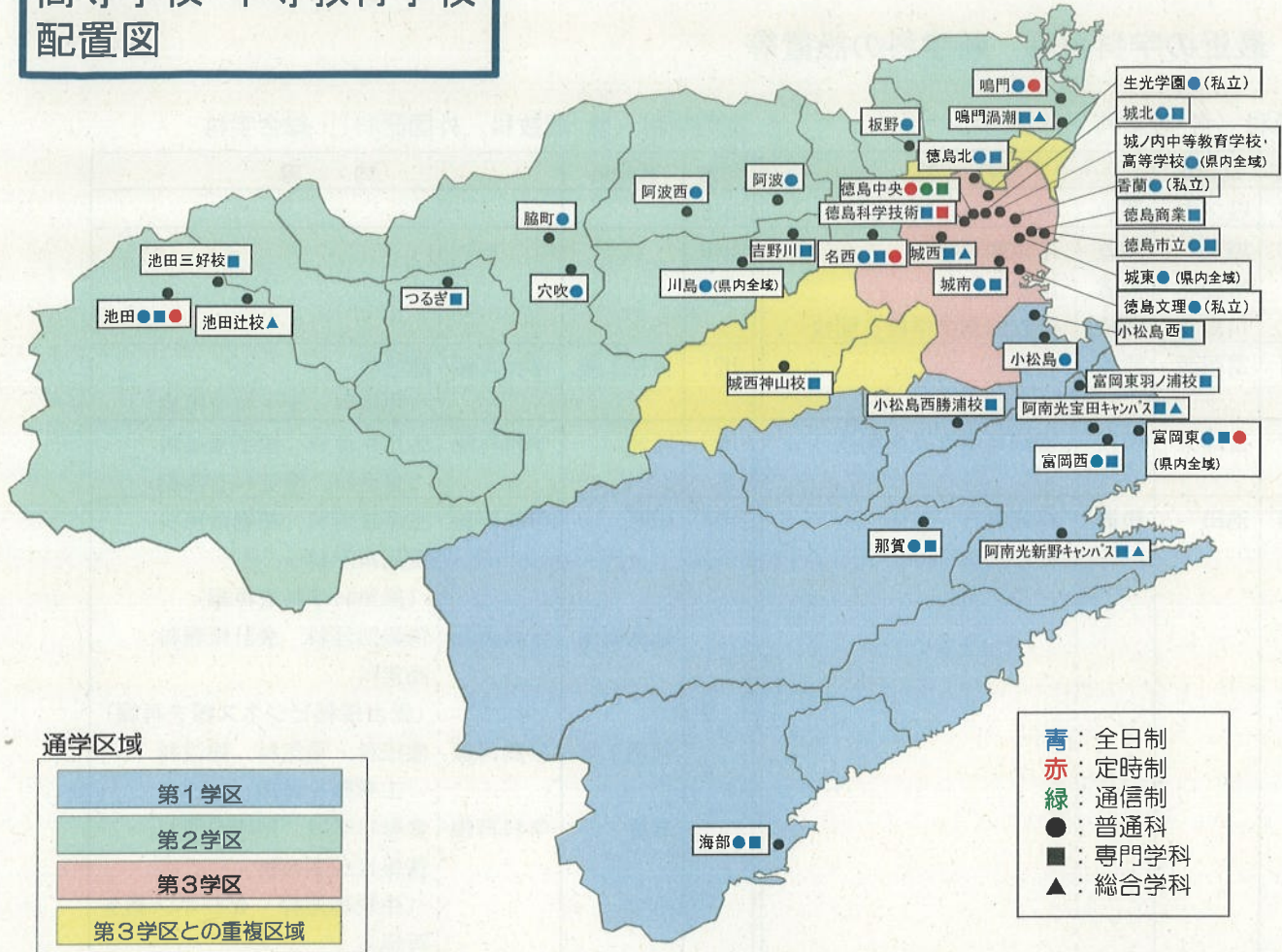
5 最近の学科再編, 新学科の設置等

普通科 (含 理数科, 外国語科)

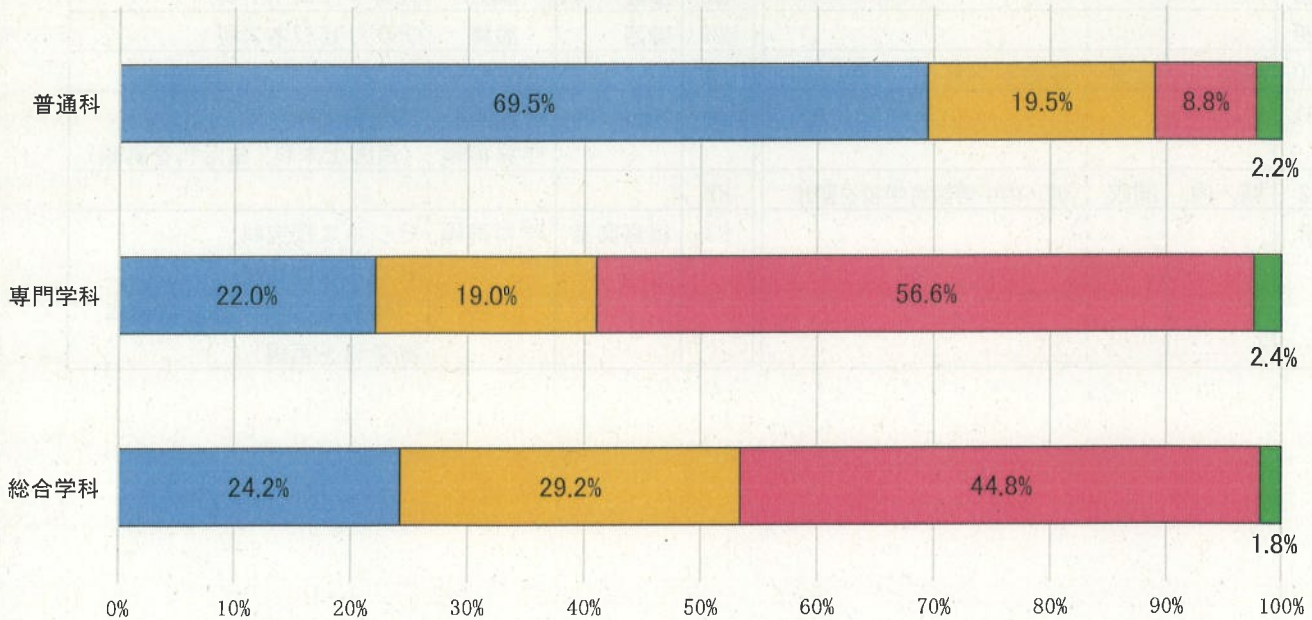
専門学科 (除 理数科, 外国語科)・総合学科

年度	高校名	内 容		年度	高校名	内 容	
H16	城ノ内	開校	城ノ内中学校を開校	H16			
H18	城南 徳島北 川島	設置 設置 開校	応用数理科 国際英語科 県立川島中学校を開校	H18			
H21	富岡西	設置	理数科	H21	貞光工業	学科再編	建設科 (建築科, 土木科を再編)
H22	富岡東	開校	富岡東中学校を開校	H22	勝浦	学科再編	応用生産科, 園芸福祉科 (普通科, 園芸科を再編)
H24	池田	設置	探究科	H24	城西	学科再編	生産技術科, 植物活用科, 食品科学科 (農業科学科を再編)
					徳島商業	学科再編	情報処理科, 会計情報科, 商業科 (総合情報ビジネス類を再編)
					阿南工業	学科再編	機械科, 電気科, 建設科 (工業類を再編)
					三好	学科再編	食農科学科, 環境資源科, 情報ビジネス科 (生物資源類, ビジネス類を再編)
H27				H27	辻	設置	総合学科 (情報ビジネス, 生活デザイン, 医療・福祉の3系列)
H28				H28	那賀	設置	森林クリエイト科
H29				H29	城西	設置	アグリビジネス科
H30	城北	設置	理数科学科	H30			
H31				H31	城西神山校	校名変更・ 学科再編	地域創生類 (造園土木科, 生活科を再編)
R2	城ノ内	開校	城ノ内中等教育学校を開校	R2			
R3				R3	徳島商業	学科再編	ビジネス探究科, ビジネス創造科 (情報処理科, 会計情報科, 商業科を再編)

高等学校・中等教育学校 配置図



6 令和元年度卒業生の進路状況



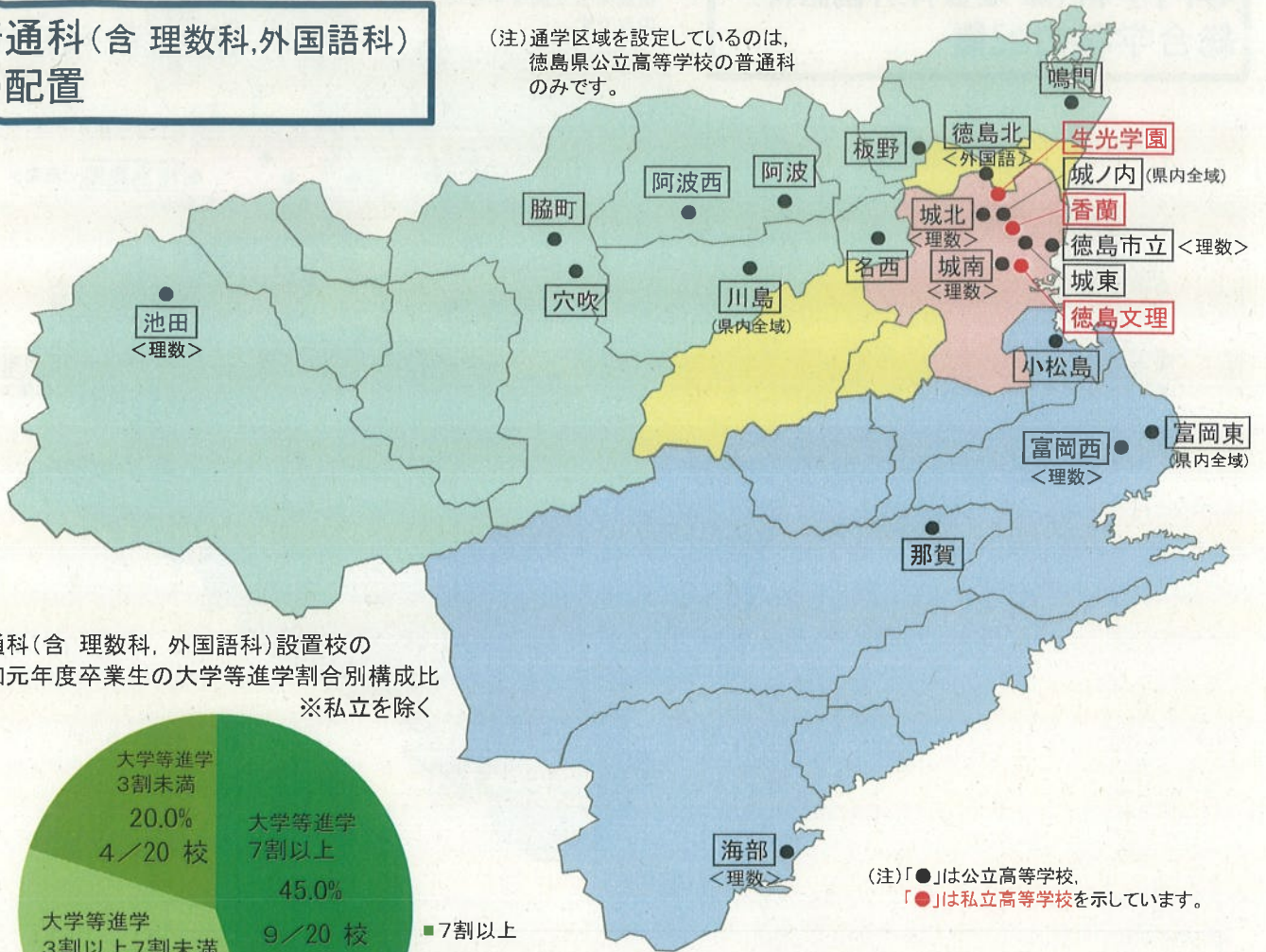
(注) 普通科には理数科・外国語科を含む
専門学科は理数科・外国語科を除く

■ 大学等進学 ■ 専修学校等 ■ 就職 ■ その他

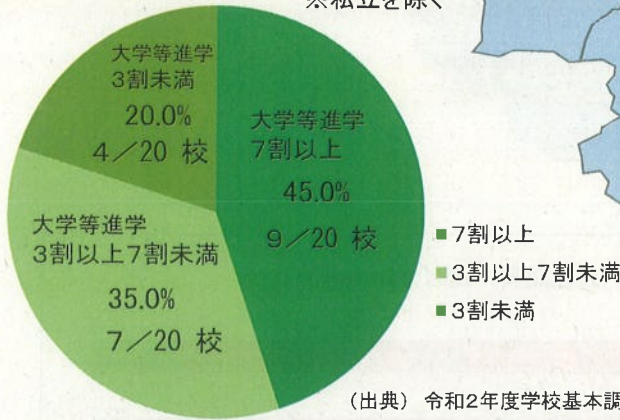
(出典) 令和2年度学校基本調査

普通科(含 理数科,外国語科)の配置

(注)通学区域を設定しているのは、徳島県公立高等学校の普通科のみです。



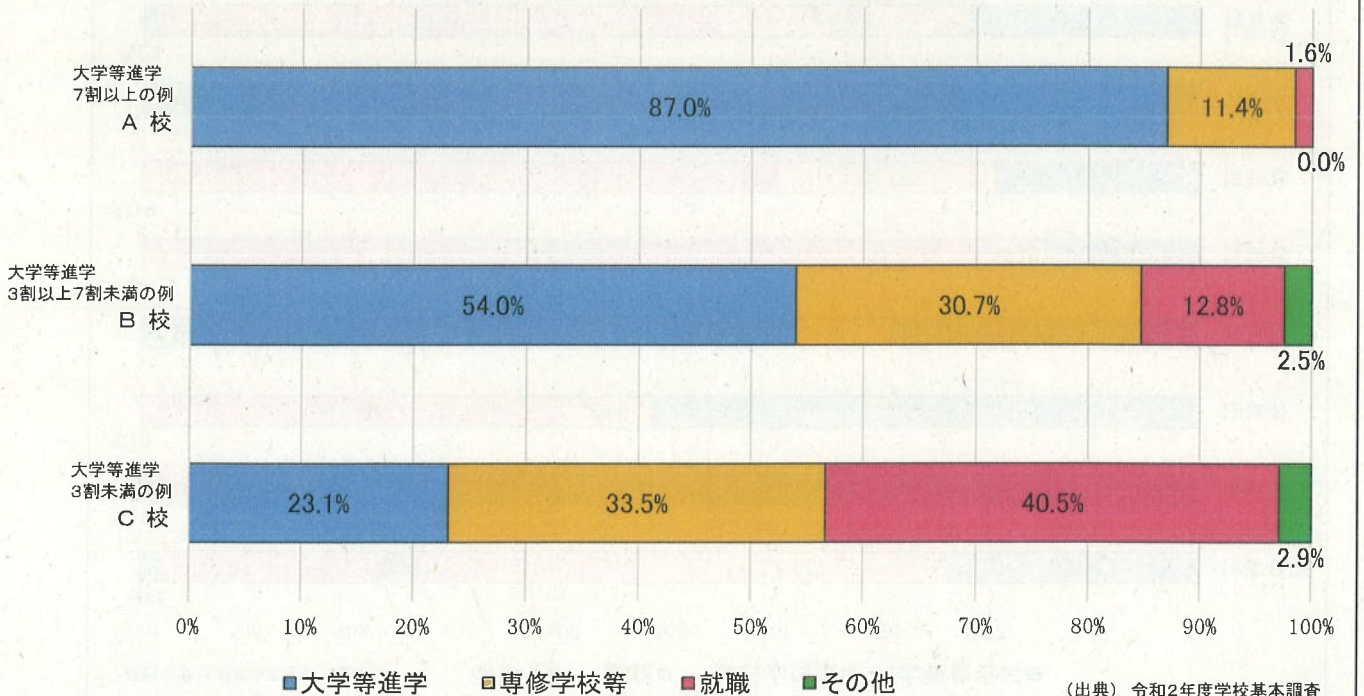
普通科(含 理数科, 外国語科)設置校の令和元年度卒業生の大学等進学割合別構成比 ※私立を除く



(注)「●」は公立高等学校、「●」は私立高等学校を示しています。

(出典) 令和2年度学校基本調査

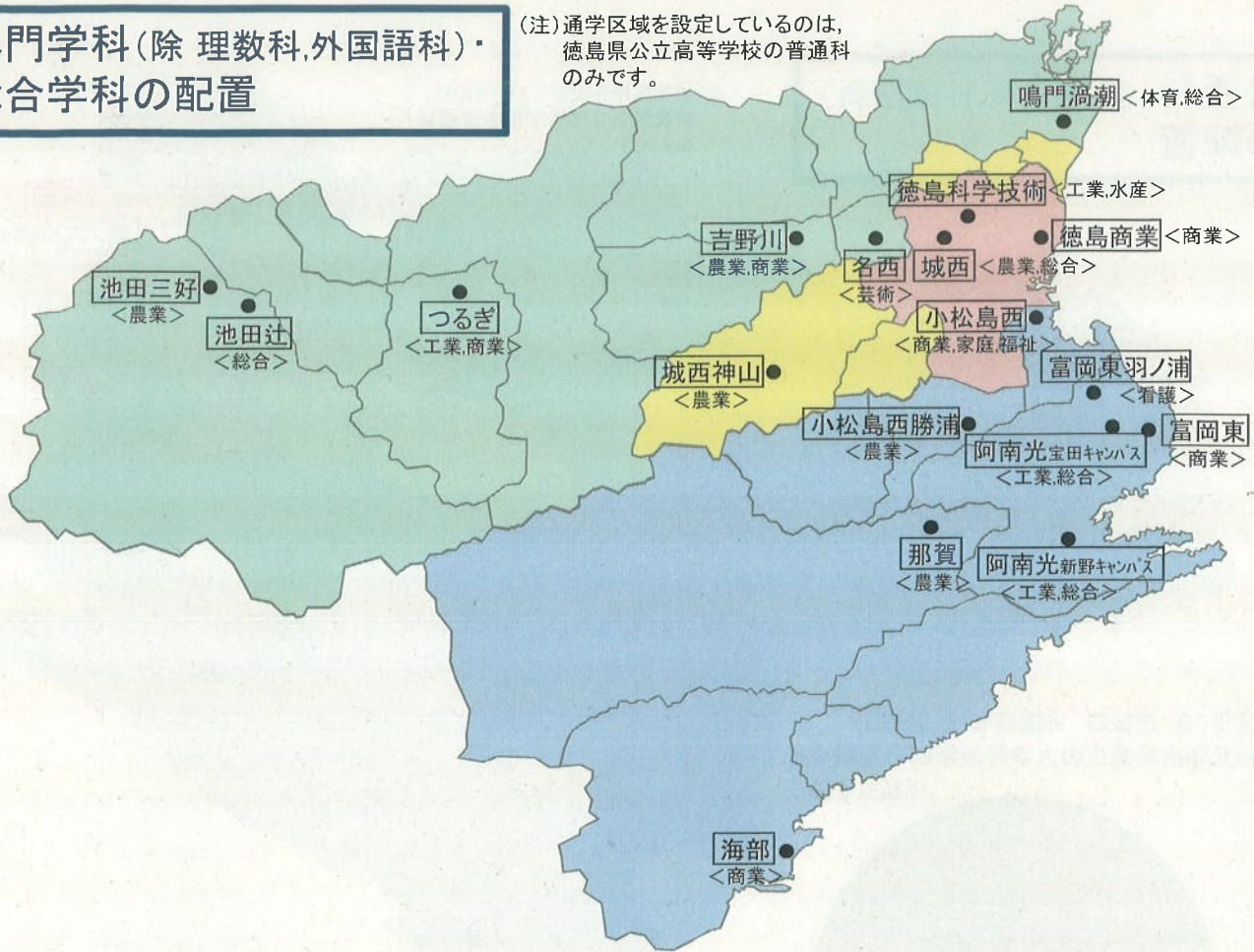
上記円グラフに対応した各学校の進路状況例



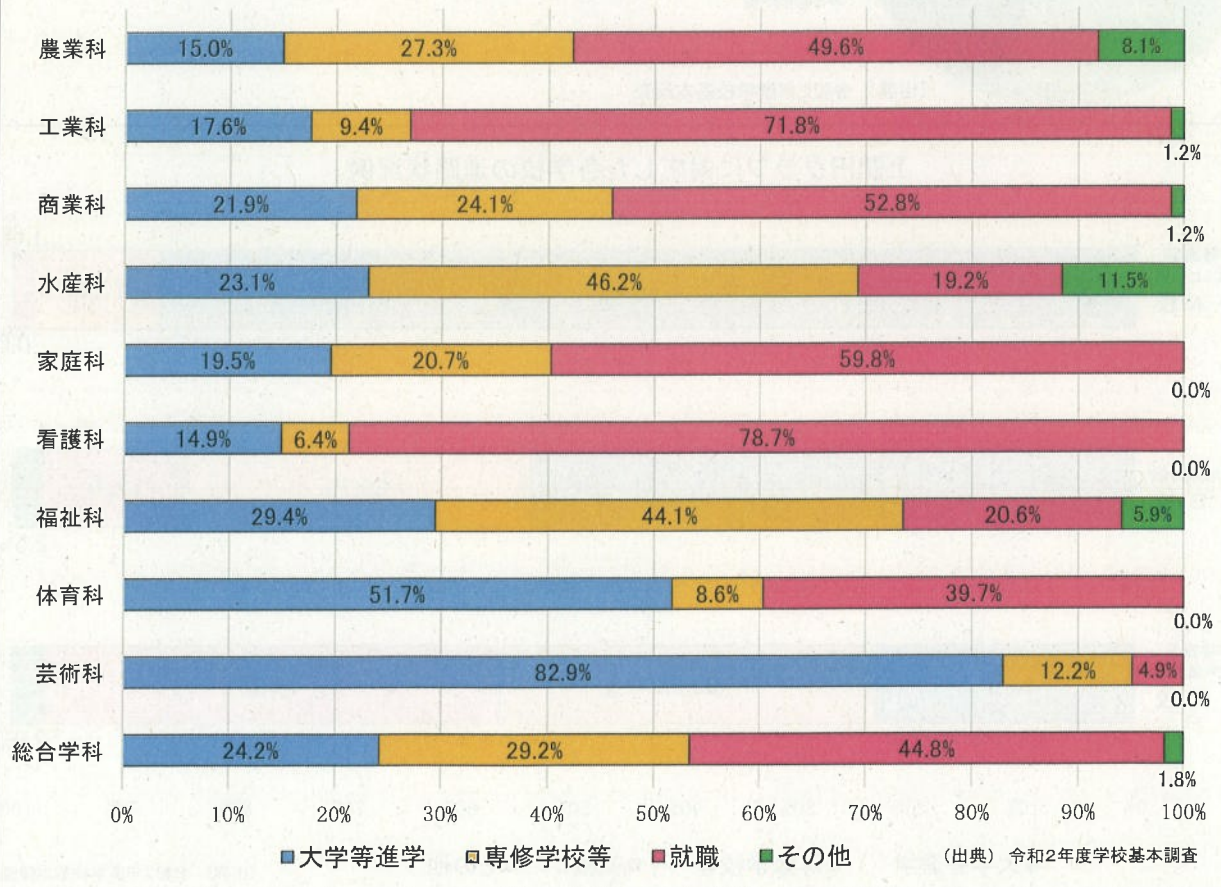
(出典) 令和2年度学校基本調査

専門学科(除 理数科,外国語科)・総合学科の配置

(注)通学区域を設定しているのは、徳島県公立高等学校の普通科のみです。



令和元年度卒業生 専門学科(除 理数科・外国語科)・総合学科の進路状況



7 コミュニティ・スクールの導入について

『徳島教育大綱』（推進期間：令和元年度から令和4年度までの4年間）

未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる「人財」の育成

「人財」の具体像

- 「未来を切り拓いていく人財」
- 「新たな価値を創造していく人財」
- 「地域を輝かせる人財」

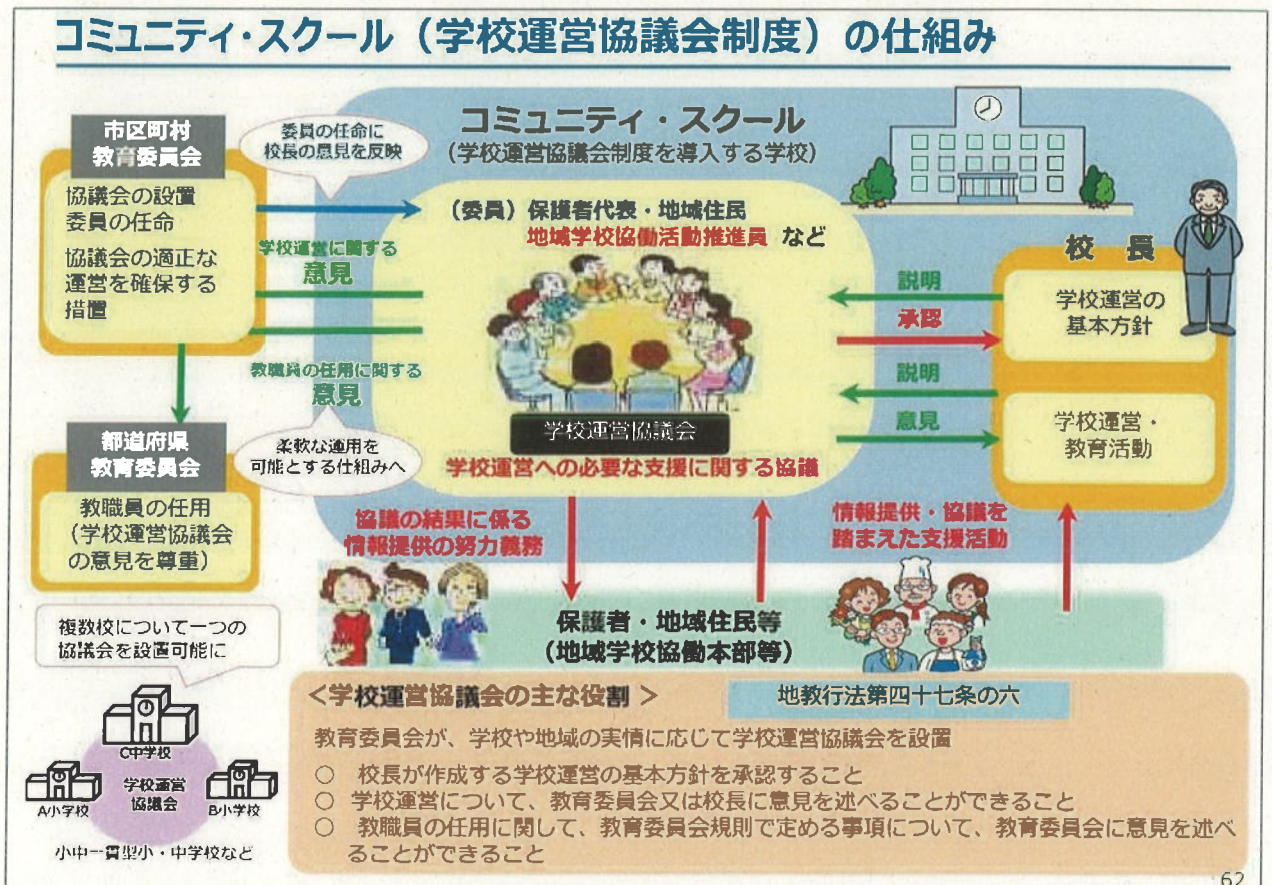
重点項目Ⅳ 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進

○学校・家庭・地域が一体で取り組む教育の推進

めざす学校像や子ども像等に関する、学校運営のビジョンを学校と家庭・地域が共有し、互いにパートナーとして、連携・協働のもとに教育活動を充実させていくことができる、「地域とともにある学校づくり」の実現のために、「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」の導入を推進します。

令和4年度までに全ての県立学校に

「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」を導入



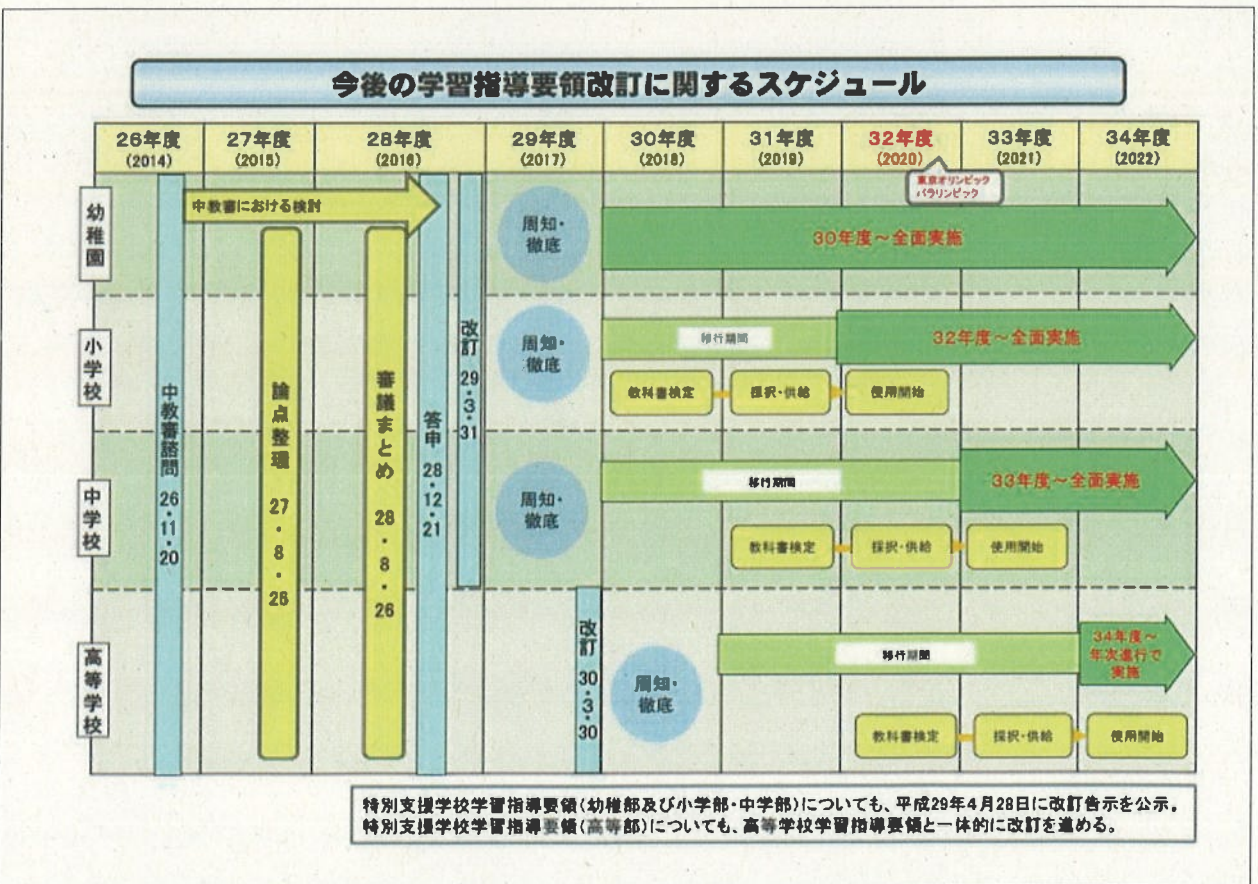
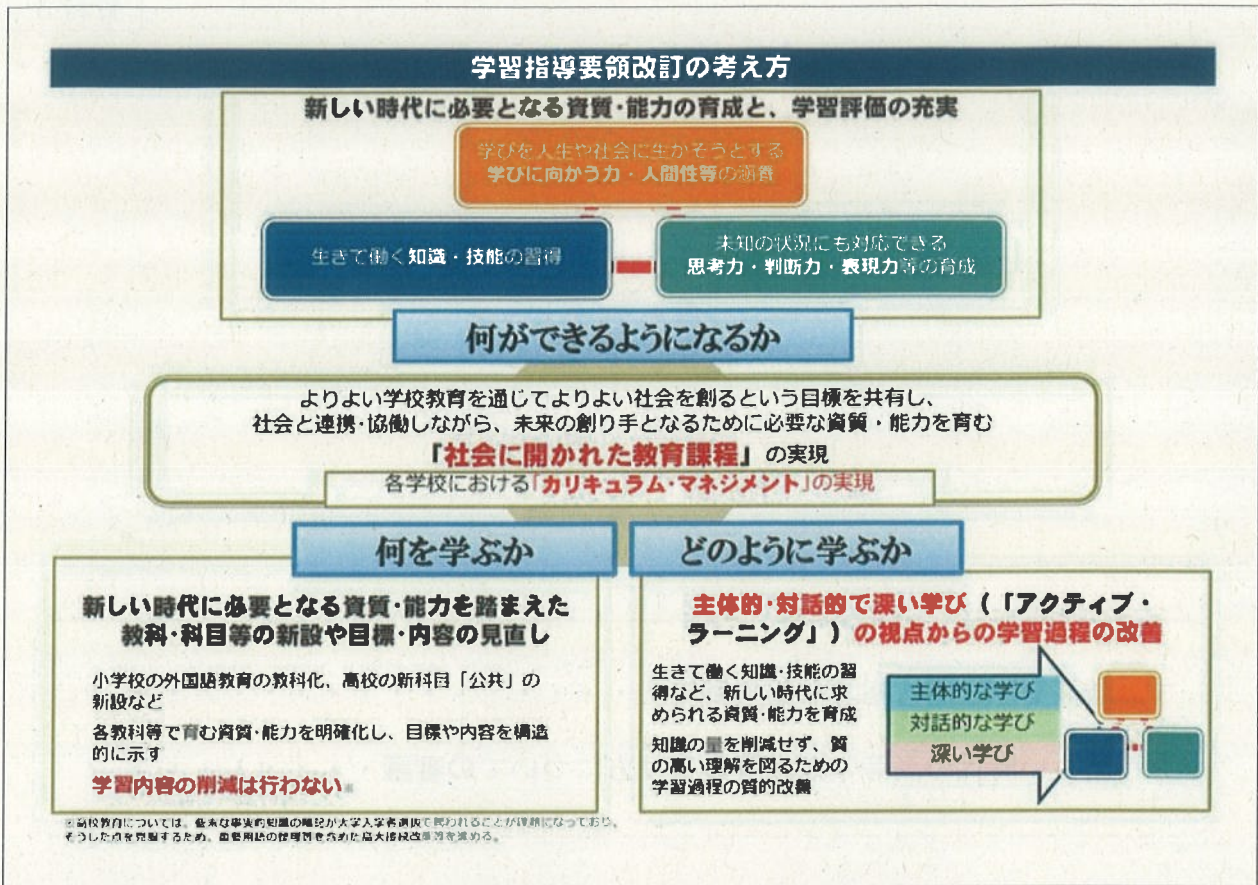
（文部科学省「高等学校教育の現状について 令和元年7月25日」より一部抜粋）

国の動き

1	新高等学校学習指導要領の実施	P. 1
2	新しい時代の高等学校教育の在り方についての審議	P. 2

1 新高等学校学習指導要領の実施

(文部科学省「新高等学校学習指導要領について 平成30年7月」より一部抜粋)



2 新しい時代の高等学校教育の在り方についての審議

(文部科学省「これからの高等学校教育について 令和2年11月25日」より一部抜粋)

目次

1. 高等学校改革の方向性

2. 各高等学校の特色化・魅力化～各学科に共通して取り組むべき方策

- (1) スクール・ミッションの再定義
- (2) スクール・ポリシーの策定
- (3) 地域社会や高等教育機関等の関係機関との連携・協働
- (4) 中山間地域や離島等の高等学校における多様な教育資源の活用

3. 学科の特質に応じた教育活動の充実強化

- (1) 「普通教育を主とする学科」の弾力化・大綱化－普通科改革
- (2) 産業界と一体となった革新的職業人材の育成－専門学科改革
- (3) 新たな時代に求められる総合学科の在り方

4. 定時制・通信制課程等における多様な学習ニーズへの対応と質保証

- (1) 定時制・通信制課程等における多様な学習ニーズへの対応
- (2) 高等学校通信教育の質保証方策

5. 令和3年度高等学校改革関係主要概算要求

2

1. 高等学校改革の方向性 ～高等学校教育を取り巻く現状と課題認識～

高校進学率 = 約99%

- ✓ 多様な入学動機や進路希望、学習経験など様々な背景を持つ生徒
- ✓ 特別な支援を要する生徒や日本語指導を必要とする生徒
- ✓ 高校生の学習意欲の低下
- ✓ 選挙権年齢・成年年齢の引下げ＝一人の「大人」としての振る舞いが期待

「非連続的」な社会経済の変化＝予測困難な時代

- ✓ Society5.0の到来
- ✓ 人口減少の加速化・高齢化の進行
- ✓ ライフコースや価値観の変化・多様化
- ✓ 人生100年時代

生徒の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸ばすための教育活動

共通性の確保 全ての高校生が社会で生きていくために必要となる力を共通して身に付ける

多様性への対応 一人一人の生徒の進路に応じた多様な可能性を伸ばす

▶ 卒業後の大学等において学びを深めたり、
実社会で様々な課題に接したりする際に必要となる力を身に付けるための学習

7

2. (1) スクール・ミッションの再定義

■背景

- ✓ 各高校の在り方を検討する上で、各高校が育成を目指す資質・能力を明確化することが重要
- ✓ しかし、学校教育目標等が抽象的で分かりにくい、校内外への共有・浸透が不十分といった指摘

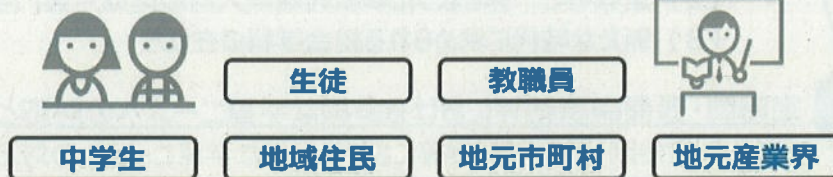
スクール・ミッション

- ✓ **各高校の存在意義**
- ✓ **期待される社会的役割**
- ✓ **目指すべき高等学校像**

高等学校の設置者が各学校や地元自治体等の関係者と連携しながら再定義

- ✓ 生徒の状況・意向・期待
- ✓ 現在の社会・地域の実情
- ✓ 学校の歴史・伝統
- ✓ 将来の社会像・地域像

高等学校の役割・理念を分かりやすく提示



- ✓ 中学校における進路指導の充実や中学生の学校選択、高校生の科目選択にも資するものとして期待

11

2. (2) スクール・ポリシーの策定

スクール・ポリシー

- ✓ 高等学校教育の入口から出口までの教育活動を一貫した体系的なものへと再構成
- ✓ 各高等学校教育の継続性を担保
 - ▶ 特色・魅力ある教育の実現に向けた整合性のある指針としてスクール・ポリシーを策定・公表
 - 育成を目指す資質・能力に関する方針 (仮称)
 - 教育課程の編成及び実施に関する方針 (仮称)
 - 入学者の受入れに関する方針 (仮称)

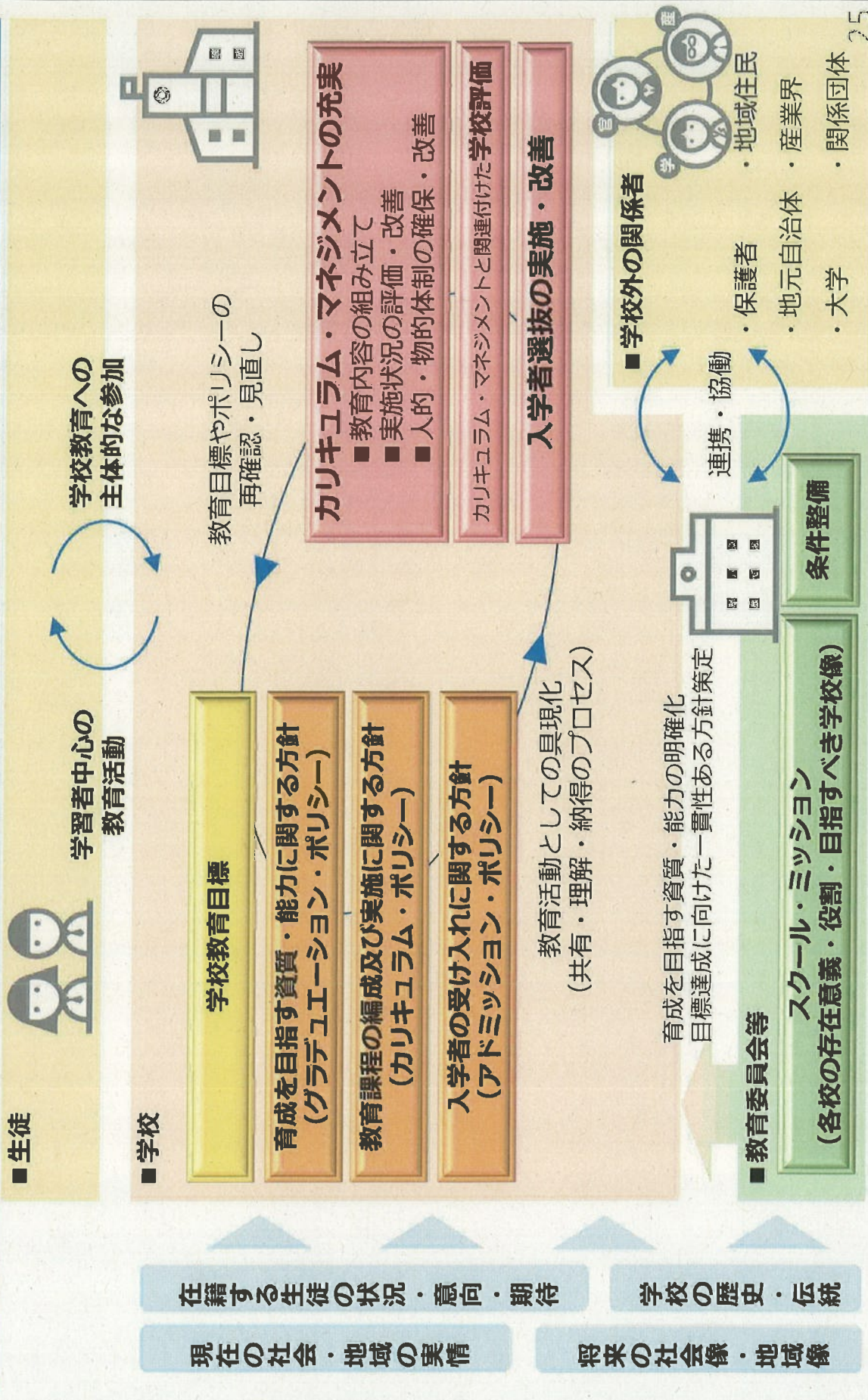
- ✓ 各高等学校における育成を目指す資質・能力を明確化・具体化
- ✓ カリキュラム・マネジメントを通じて、学校全体の教育活動の組織的・計画的な改善へと結実
- ✓ スクール・ポリシーを基準にして、高等学校の教育活動や業務内容を精選・重点化
- ✓ 学校評価において、スクール・ポリシーに照らして自らの取組を点検・評価

スクール・ポリシーの内容

- ✓ 生徒や入学希望者の学習意欲を喚起し、学校生活や将来に対する展望を持ちやすい表現・内容
- ✓ 日常的に参照可能なよう、総花的なものせず真に重点的に取り組む内容を示す指針
- ✓ スクール・ポリシーについても日々の教育活動の検証等を通じた見直し

15

スクール・ミッション及びびスクール・ポリシーに基づく教育活動の実施・改善（イメージ）



今後の開催スケジュール（予定）

第 1 回検討会議 令和 3 年 2 月 2 日（火）

- 会長・副会長の選出
- 公立高等学校の現状について
- 国の動きについて
- 公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策について

第 2 回検討会議 令和 3 年 3 月 19 日（金）

- 公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策について

第 3 回検討会議 令和 3 年 5 月頃

- 公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策について
- 公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策について

第 4 回検討会議 令和 3 年 8 月頃

- 公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策について
- 公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策について

第 5 回検討会議 令和 3 年 10 月頃

- 公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策について
- 公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策について
- 検討会議報告書（素案）について

第 6 回検討会議 令和 3 年 12 月頃

- 検討会議報告書（案）について

報 告 令和 3 年 12 月頃

検討会議から徳島県教育委員会へ

その他

- 「検討会議報告書（素案）」に対するパブリックコメントの実施（令和 3 年 11 月頃）


- 1 本県公立高等学校の特色ある取組…………… P. 1
- 2 公立普通科設置高等学校の特色…………… P. 3

1 本県公立高等学校の特色ある取組

海部高等学校	令和3年度	
	学科名	募集定員
	普通科	60名
	数理科学科	30名
情報ビジネス科	20名	

○特色ある取組

- ・地域を体験する「実践海部道場」
 - <地域提案創造型学習>SDGsを軸とした地域探究活動、校内・地域でのポスターセッション、内閣府「SDGsまちづくりアイデアコンテスト」のファイナリストに選出、SDGsに取り組む地元企業紹介動画の作成(情報ビジネス科)
 - <体験・体感プログラム>トップアスリート講演会(元全日本女子バレーボール選手 新鍋理沙さん)、高校生防災士による出前授業など
- ・世界を体感するグローバル教育
 - オンライン英会話、海外短期留学、ALT等による英語漬け体験、高校生英語弁論大会にて全国5位入賞
- ・通信映像講座「駿台サテネット21」、学習支援クラウドサービス「Classi」、京都賞授賞式・講演会参加
- ・次世代経営者育成プログラム(起業体験活動)(情報ビジネス科)



○令和元年度卒業生進学実績
横浜国立大学、名古屋大学など国公立大学11名合格


○令和元年度部活動成績
バスケットボール部(男子)
全国高校選手権大会県予選 優勝(全国大会出場)
県高校総合体育大会 優勝(インターハイ出場)
県高校新人戦 優勝

実践海部道場「SDGs実践ローカル企業に学ぶ」

阿南光高等学校	令和3年度	
	学科名	募集定員
	機械ロボットシステム科	35名
	電気情報システム科	30名
都市環境システム科	25名	
産業創造科	75名	

○特色ある取組

- ・本県初となる農工商が一体化した専門教育を行う高校
- ・「6次産業化に対応した教育」、「ものづくりを重視した教育」、「地元企業・大学等と連携した教育」を展開
- ・産業創造科では、2年次から「地域クリエイト系」、「フードデザイン系」、「情報ビジネス系」、「バイオサイエンス系」、「総合サイエンス系」の5つの系に分かれ、それぞれ特色あるカリキュラムで学習
- ・伊島中学校、徳島大学との連携による、バイオ技術を生かした「イシマササユリ保護活動」
- ・「あこうバンブーミクス」による防災用品「ぼてっとライト」、「ぷるっとライト」などの開発や、中学校への出前授業などでの普及活動
- ・徳島大学の教員による高大連携授業(令和2年度:7名の教員による講座)
- ・刈草堆肥「もったいない2号」を活用した環境保全活動
- ・地元企業と連携し、阿波牛・阿波ポークや県産野菜を具材にした「防災カレー」の開発



○令和元年度卒業生進路実績
株式会社大塚製薬工場、日亜化学工業株式会社など
徳島大学生物資源産業学部など

○令和元年度部活動成績
ホッケー部(男子)
県高校総合体育大会 優勝
四国高校選手権 第2代表(インターハイ出場)
四国高校選抜大会 優勝

新野キャンパス常駐の服部教授による高大連携授業

鳴門高等学校	令和3年度	
	学科名	募集定員
	普通科	280名

○特色ある取組

- ・鳴門教育大学との連携協定
鳴門教育大学院生の実習「教科教育課題フィールドワーク」の受け入れ、
大学院生とともに学ぶ学習教室「Miraiサポート」、鳴門教育大学教員による特別講義、
大学院生が「学びサポーター」として学校教育活動を支援、
鳴門教育大学の施設・設備利用や学部生・大学院生との相互交流
- ・多様な学校設定科目
ボランティア学特講、生活の書、チャンピオンスポーツA・B、ふるさと研究など
- ・「鳴門に学ぶ地域学」講座
1年生では講演会「世界に誇る鳴門の魅力」、2年生では講演会「四国・阿波の玄関撫養街道」、
なんと観光ボランティアガイドを招いた「撫養街道を歩くフィールドワーク」
- ・独リユネブルク市親善使節団青年の受け入れ
- ・大谷焼窯元の外部講師の指導による陶芸制作(美術Ⅰの授業で年4回)

鳴門教育大学教員による特別講義

- 令和元年度卒業生進学実績
広島大学、鳴門教育大学など国公立大学27名合格
(平成30年度のほぼ2倍)
- 部活動全国大会出場・全国表彰
硬式野球部、陸上競技部(男女)、体操部(女子)、
なぎなた部、柔道部(男子)、放送部

池田高等学校(本校)	令和3年度	
	学科名	募集定員
	普通科	130名
探究科	35名	

○特色ある取組

- ・多様な機関との連携による「課題研究」(探究科)
行政・NPO等による講演・フィールドワーク、研究機関による課題研究指導、
県外の高校との合同現地調査・課題研究発表会、企業等による見学受け入れ・ワークショップなど
- ・NIPPON探究スクール事業実施校として
「明治から昭和初期の養蚕・製糸からみた徳島の政治・経済」をテーマに研究し
第60回全国学芸サイエンスコンクールで金賞(H28)
- ・これまでの課題研究の実績が評価され、「三菱みらい育成財団2020年度助成校」に指定
- ・地域のインバウンドPR動画を制作し、第1回全国高等学校グローバル観光コンテストで予選通過
- ・課題研究のノウハウを活用した「総合的な探究の時間」の充実(普通科)
三好市職員の指導助言による観光や子育て施策の研究
- ・キャリア教育優良校として文部科学大臣表彰を受賞

地域観光をテーマにした探究科の課題研究

- 令和元年度卒業生進学実績
岡山大学、千葉大学など国公立大学25名合格
- 部活動全国大会出場・全国表彰
レスリング部(男女)、山岳部、ハンドボール部(女子)、
弓道部(男子)、書道部

2 公立普通科設置高等学校の特色

学校名	併設学科	単位制	中高一貫	コース制	特色	NEO徳島 トップスポーツ	県外 募集	部活動数 体育 文化 同好会
1 城東				2年生から 数理 理系 文系	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の課題に主体的・創造的に対応できる能力を培い、将来のグローバル・リーダーとして活躍が期待できる人材の育成 ・国際的なリーダーの育成を図る文部科学省スーパーグローバルハイスクール指定(H26～H30) ・2019年WWLコンソーシアム構築支援事業に応募(採択されず) ・サイエンス・イノベーション・ハイスクール事業指定校(R1) 	バレー男 バドミントン女	○	14 15 3
2 城南	応用数理 (H18～)				<ul style="list-style-type: none"> ・創立145周年を迎えた、県内で最も歴史のある高校 ・科学技術人材の育成を目指す文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定(H15～R4) ・研究開発課題「生徒の主体性の向上に向けた『J-LINKプログラム』と連動した多面的評価方法の開発」 	卓球男 バレー女 テニス男		15 12 3
3 城北	理数科学 (H30～)	H16～			<ul style="list-style-type: none"> ・(目指す生徒像)「課題に対して対話を通じて深く考察し探究する力を持つ生徒」 ・サイエンス・イノベーション・ハイスクール事業指定校(R1～R2) ・徳島県の語る伝統芸能「阿波人形浄瑠璃芝居」を継承する部活動「民芸部」 【理数科】 ・県内で唯一、理科の全分野(物理・化学・生物・地学)を履修し、「ICT」「防災」「環境」など幅広い社会ニーズに応える理数教育の展開 ・大学、企業等との連携による「課題研究」の実施 ・ドイツ姉妹校(リーゼ・マイトナー・ギムナジウム)との共同研究 	ハンドボール女		16 14 3
4 城ノ内		H27～	中等 (R2～)		<ul style="list-style-type: none"> ・学力面のリーディングハイスクール(進学面において本県中等教育をけん引する学校づくり) ・県内最大規模となる授業時間数による「先取り学習」や「習熟度別授業」の充実 ・切れ目のない6年一貫教育のメリットを最大限に生かし、世界に通じるグローバル人材の育成 ・英語の「読む、聞く、話す」技能の向上を図るCALL(語学学習支援)システム ・「エンカル消費」リーディングハイスクール(H30～R1) 			12 14
5 徳島北	国際英語 (H18～)			【国際英語科】 2年生から ヒューマンディ サイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的視野を持ち、地域社会に貢献できる人材の育成 【国際英語科】 ・海外語学研修(オーストラリアの国立大学での集中英語トレーニング) 			16 14 2
6 徳島市立	理数 (S43～)			【普通科】 2年生から 国際 科学	<ul style="list-style-type: none"> ・県内唯一の市立高等学校であるという独自性を生かした多彩なプログラムを通して、次世代のたくまを創造するたくましい人材の育成に努める ・「学問」「スポーツ」「芸術」を重視した教育活動を展開するとともに、理数科と普通科の特色を生かしたキャリア教育を推進する ・地域住民や徳島大学留学生等との連携事業を手掛ける「みらい共創室」の開設(H28～) 	サッカー男 ハンドボール男 ボート男女	○	20 22 3
7 小松島					<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの可能性を最大限に伸長する教育の推進 ・成長を記録し自己管理能力の養成を図るキャリア・パスポート活用事業(R1) ・確かな学力の育成に係る実践的調査研究(文部科学省指定)(H26～27) 	新体操男	○	13 12

学校名	併設学科	単位制	中高一貫	コース制	特色	NEO徳島 トップスポーツ	県外 募集	部活動数 体育 文化
8 富岡東	商業 (S45～) 看護 (H14～)		併設 (H22～)		・中学校・高校の6年間を2年間ずつ基礎期・深化期・応用期ととらえた、計画的・継続的な教育課程の展開 ・中学生と高校生がともに活動・交流することで、社会性や人間性を育成	バスケット女 剣道女	○	14 19
9 富岡西	理数 (H21～)	H16～			・科学技術人材の育成を目指す文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定(R1～R5)研究開発課題「科学的探究活動から地域社会をイノベーションする人材育成に関するカリキュラムの開発」	新体操女		15 16 1
10 那賀	森林 クリエイト (H28～)		2年次から 応用 総合 福祉 情報ビジネス		・1学年約70名(2学科)と小規模であるため、生徒と教員の結びつきや生徒同士の連帯意識が強い ・地域に根ざした教育活動の展開 ・連携型中高一貫教育の特長を生かす「個人教育記録」の導入や中高合同の学校行事の開催、中高の教員の交流 ・地元ケーブルテレビを活用した広報活動 ・コミュニケーション導入(R2) ・オーストラリアのセントメアリーズ校日本語学科の生徒との相互交流	カヌー男女	◎	8 6
11 海部	情報ビジネス 数理科学 (H16～)		【普通科】 2年生から 人文社会 自然科学		・(目指す学校像)「チーム海部」の強い「絆」を生かし、魅力あふれる自然・学習環境で深い「学」びを実現し、生徒一人一人が「夢」をかなえる日本の高校 ・地域を体験する「実践海部道場」、世界を体感するグローバル教育(オンライン英会話、ALT等による英語漬け体験、海外短期留学制度など) ・京都賞授賞式・講演会に参加、京都大学見学 ・通信映像講座「駱台サテネット21」、学習支援クラウドサービス「Classi」 ・高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業(H30～R1)、新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業(R2) ・コミュニケーション・スクールの導入(R2)	バスケット男	◎	11 12 2
12 鳴門		H17～			・多様な学校設定科目(ポランティア学特講、チャンピオンスポーツA・B、ふるさと研究、ユニバーサルデザインなど) ・鳴門教育大学と高大連携に関する協定 ・教職大学院で学ぶ学生の実習の受け入れ(県内高校では初めて)、鳴門大教員による特別講義などを実施	陸上男女		17 18
13 板野		H16～			・確かな学力の育成に係る実践的調査研究(文部科学省指定)(H24～27) ・独自教材「Smile」を用いた学力向上のための学び直しの取組	柔道女 カイトワテイング女		11 13
14 名西	芸術 (S44～)				・(教育方針)「明日に輝く名高生～挑戦・協力・創造できる生徒の育成」 ・コミュニケーション・スクールの導入(R2) ・文化芸術リーダーディングハイスクール(文化や芸術の分野で県内の高校をけん引する学校づくり)	相撲男	○	9 13 2

学校名	併設学科	単位制	中高一貫	コース制	特色	NEO徳島 トップスポーツ	県外 募集	部活動教 体育 文化 同好会
15 川島		H17～	併設 (H18～)	コース制	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心、適性等に応じて科目選択ができる進学重視型「単位制」システム 6年間を2年ごとに基礎期、充実期、発展期に分け、「学力」と「キャリア」の両面から、計画的・継続的な教育課程を展開 			9 12
16 阿波					<ul style="list-style-type: none"> 「夢・チャレンジプロジェクト」 将来への夢を遠くに見据えつつ、学問分野探究、環境・防災研究、学部学科研究、小論文研究、読書研究により、自己のキャリアをデザインしようとする主体性と、自立した人間として社会に貢献しようとする意欲と実践力を高める 学校林整備作業(土成町に所有) 	柔道男	12 12	
17 阿波西			連携 (H13～)	2年生から アカデミックA アカデミックB 情報ビジネス 福祉	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の能力・適性、興味・関心等に応じたコース制(2年生から分かれる) コースによっては様々な資格取得が可能 連携中学との交流授業、連携3校での参観(公開)授業の実施 「学び直しタイム」において「マナトレ」の活用により、基礎学力の向上を図る 外国語教育強化地域拠点事業(文部科学省委託)(H26～29) 女子ホッケー部は、平成5年に東四国国体3位 		5 6	
18 穴吹		H12～			<ul style="list-style-type: none"> 進路希望に合わせたオリジナルの時間割で、少人数授業・きめ細かな個別指導 特色ある科目(徳島県の文化史、すぐ使える法律学、楽しい実験等)を開設 1クラスにつき、担任1名、副担任2名を配置 確かな学力の育成に係る実践的調査研究(文部科学省指定)(H26～27) 1年生で国英の学び直しを行い、認定テストを実施し、基礎学力の定着を図る 道徳教育実践研究事業指定校(H28～R2) 多彩な地域貢献活動の展開 オリンピック選手輩出9名(レスリング競技中心) 	レスリング男	○ 7 4	
19 脇町					<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定(H22～R6) 研究開発課題「地方における、IoT/AIを活用し未来を創造できる科学技術人材の育成」 	ソフトテニス女	○ 13 11 2	
20 池田	探究 (H24～) 総合 (H27～) 食糧科学 環境資源 (H24～)		【普通科】 3年生から 人文社会系 人文総合系 自然科学系 医療看護系		<ul style="list-style-type: none"> 高等学校の多様なニーズに応える遠隔教育推進事業(H30～R2) 【普通科】 総合的な探究の時間において、三好市の若手職員による通年での指導助言のもと、市の観光や子育て施策を研究 【探究科】 地域に密着した課題に取り組みながら「社会のリーダー」を育てる 地域のインバウンドPR動画を制作し、第1回全国高等学校グローバル観光コンテストにて予選通過(R1) 	レスリング男女	◎ 10 11	

◎は人数制限無し